

令和元年度授業改善推進プラン【1年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△間違っただ書き順だったり丁寧に字を書こうとする意識が低かったりする児童が数名いる。</p> <p>△単語としてとらえることが難しく、一文字ずつの読みになってしまう児童がいる。</p> <p>△話を最後まで聞けずに、大事なことを取りこぼす児童が数名いる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一人一人が字を丁寧に書くことができるように、授業の中に書画カメラを活用して、単語ごとに語彙を捉えられるように視写させる。 • 朝読書、音読の指導を徹底する。語彙を増やすために読み聞かせや、言葉遊びなどを取り入れる。 • 適宜一人一人の児童に合わせた聞き方の指導を継続的に行う。
算数	<p>△文章問題の題意を理解し、式を立てたり単位に気を付けて答えたりすることが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文章題の学習においては、「文章を具体物で掲示」「何算か確認」「求める数量の確認」「単位確認」といった指導を継続的に行う。
生活科	<p>△自分の経験と結び付けて気付いたことや思ったことを表現することが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 気付いたことや思ったことを表現するときには、「いつ」「どうして」「どんな」などを明確にするように指導する。表現することに難しさのある児童については、具体的な言葉の例を示す。 • 観察するときにはペア活動やグループ活動を取り入れ、対話的な学び合いができるようにすることで、栽培への関心・意欲を育てる。
音楽	<p>△正しい指使いでリズムに乗って鍵盤ハーモニカを演奏することが難しい児童がいる。</p> <p>△リズム打ちが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 楽器の基本的な奏法を覚え、繰り返して練習することで定着を図る。また、自信をなくさないためにもできることから少しずつ段階をふんで練習を促し、その都度評価し、褒めていく。 • 体全体でリズムを感じ取るように指導する。拍子・休符を含めタン、ウンでしっかり声に出して表現するように指導する。
図工	<p>△じっくり丁寧に作品を完成させようという気持ちが足りない。(早くこなそうとする児童が多い。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教師が、道具や材料の適切な使い方や作業手順について説明する際には、実物を見せたり、板書に図を取り入れたりして、ポイントを簡潔に伝えるように工夫する。 • 自分の作品の良い所や友達の作品の良い所を伝え合う中で、より良いものを作ろうとする意識を高めさせるようにする。
体育	<p>△基礎体力が低く、諦めが早い児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 明確で短い指示を常に意識し、たくさん褒めて規律ある集団行動ができるようにさせる。 • 児童が好む遊びの要素を工夫し、意欲的に体を動かせるようにしていく。